



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和5年度

防災情報ネットワーク事業
多良岳地区奥山頭首工付帯工事

積 算 書

(当初)

九州農政局
北部九州土地改良調査管理事務所

九州農政局

九州農政局

九州農政局

事業名	防災情報ネットワーク事業
工事名	多良岳地区奥山頭首工付帯工事

項 目 名	数 量	単 位	金 額	備 考
工事価格			11,500,000	
・工事原価			9,415,000	
純工事費			6,538,000	
・直接工事費			5,478,000	
・直接工事費(仮設工を除く)	1.000	式	5,478,000	
・直接工事費(仮設工)	1.000	式	0	
・間接工事費			3,937,000	
・共通仮設費			1,060,000	
・事業損失防止施設費	1.000	式	0	
・運搬費～営繕費等				
$5,478,000 \times ((17.090 \times 1.000) \times 1.000 \times 1.040 \times 1.000)$			973,000	
・運搬費	1.000	式	0	
・準備費	1.000	式	0	
・安全費	1.000	式	0	
・役務費	1.000	式	0	
・技術管理費	1.000	式	0	
・営繕費等	1.000	式	0	
・現場環境改善費			87,000	
・現場環境改善費(率計上)				
$5,343,000 \times (1.630)$			87,000	
・現場環境改善費(積上)	1.000	式	0	
・現場管理費			2,877,000	
・現場管理費(率計上)				
$6,538,000 \times ((40.380 \times 1.000) \times 1.000 \times 1.090 \times 1.000 + 0.000 + 0.000 - 0.000)$			2,877,000	
・現場管理費(積上)	1.000	式	0	
・現場管理費(一般管理費率対象外)	1.000	式	0	
・工期延長に伴う現場維持等の費用	1.000	式	0	
・官貸額(直工)	1.000	式	0	
・官貸額(事業損失防止)	1.000	式	0	
・官貸額(直工・事業損失防止除く)	1.000	式	0	
・一般管理費等				
$9,415,000 \times (22.210 \times 1.000 + 0.04)$			2,094,000	
・一括計上価格	1.000	式	0	
支給品費			0	
支給品費(直工・事業損失防止)			0	
支給品費(直工)			0	
処分費等(直接工事費の内数)			135,000	
処分費(準備費の内数)			0	
処分費(事業損失防止施設費内数)			0	
処分費等(率対象外)			0	

九州農政局

九州農政局

事業名	防災情報ネットワーク事業
工事名	多良岳地区奥山頭首工付帯工事

名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
直接工事費 (仮設工を除く)				5,478,000	
・配管工					
	1.000	式		5,478,000	
・・作業土工					
	1.000	式		521,000	
BA0103 床掘り	130	m ³	1,984	257,920	歩A・単A B単 1号
B01209 埋戻	76	m ³	3,461	263,036	歩A・単A B単 2号
合 計				520,956	
・・作業残土処理工					
	1.000	式		402,000	
B01210 作業残土処理	62	m ³	6,482	401,884	歩A・単A B単 3号
合 計				401,884	
・・管体基礎工					
	1.000	式		159,000	
B07301 砂基礎 その他購入土	25	m ³	6,359	158,975	歩A・単A B単 4号
合 計				158,975	
・・配管工					
	1.000	式		1,151,000	
B07231 埋設表示テープ	1,514	m	239	361,846	歩A・単A B単 5号
000006 電線管敷設 FEP 65	763.000	m	120	91,560	歩A・単A B単 6号
000007 電線管敷設 FEP 50	763.000	m	120	91,560	歩A・単A B単 7号
000008 電線管敷設 FEP 30	763.000	m	120	91,560	歩A・単A B単 8号
000009 ケーブル接続	1.000	式	514,265	514,265	歩A・単A B単 9号
合 計				1,150,791	
・・ハンドホール設置工					
	1.000	式		879,000	
000010 ハンドホール 600×600×600	7	基	125,554	878,878	歩A・単A B単 10号
合 計				878,878	
・・構造物撤去工					
	1.000	式		1,300,000	
BA0203 舗装版切断 As,t=5cm	966	m	542	523,572	歩A・単A B単 11号
BA0203 舗装版切断 Co,t=10cm	480	m	1,038	498,240	歩A・単A B単 12号
BA0202 舗装版破碎 As,t=5cm	242	m ²	186	45,012	歩A・単A B単 13号
BA0202 舗装版破碎 Co,t=10cm	120	m ²	186	22,320	歩A・単A B単 14号
B02315 殻運搬・処理 (産業廃棄物処分費) アスファルト殻	12	m ³	7,197	86,364	歩A・単A B単 15号
B02315 殻運搬・処理 (産業廃棄物処分費) コンクリート殻	12	m ³	7,197	86,364	歩A・単A B単 16号
000017 既設側溝撤去復旧 B200,18N-8-40,BB	3.000	m	6,308	18,924	歩A・単A B単 17号
000018 既設側溝撤去復旧 U300,既設材流用	1.500	m	5,586	8,379	歩A・単A B単 18号
000019 既設側溝撤去復旧 U400,既設材流用	1.500	m	5,586	8,379	歩A・単A B単 19号
000020 既設側溝撤去復旧 U600,既設材流用	0.500	m	5,586	2,793	歩A・単A B単 20号
合 計				1,300,347	
・・道路復旧工					
	1.000	式		1,066,000	
BA0805 上層路盤 (車道・路肩部) M-40,t=10cm	242	m ²	640	154,880	歩A・単A B単 21号
BA0809 表層 (車道・路肩部) As,t=5cm	242	m ²	2,598	628,716	歩A・単A B単 22号

九州農政局

事業名	防災情報ネットワーク事業
工事名	多良岳地区奥山頭首工付帯工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** B単 - 1号 ***					
BA0103	床掘り					
			m3	1,984		歩A・単A
	*** B単 - 2号 ***					
B01209	埋戻					
			m3	3,461		歩A・単A
	*** B単 - 3号 ***					
B01210	作業残土処理					
			m3	6,482		歩A・単A
	*** B単 - 4号 ***					
B07301	砂基礎					
	その他購入土		m3	6,359		歩A・単A
	*** B単 - 5号 ***					
B07231	埋設表示テープ					
			m	239		歩A・単A
	*** B単 - 6号 ***					
000006	電線管敷設					
	FEP 65		m	120		歩A・単A
	*** B単 - 7号 ***					
000007	電線管敷設					
	FEP 50		m	120		歩A・単A
	*** B単 - 8号 ***					
000008	電線管敷設					
	FEP 30		m	120		歩A・単A
	*** B単 - 9号 ***					
000009	ケーブル接続					
			式	514,265		歩A・単A
	*** B単 - 10号 ***					
000010	ハンドホール					
	600×600×600		基	125,554		歩A・単A
	*** B単 - 11号 ***					
BA0203	舗装版切断					
	As,t=5cm		m	542		歩A・単A
	*** B単 - 12号 ***					
BA0203	舗装版切断					
	Co,t=10cm		m	1,038		歩A・単A
	*** B単 - 13号 ***					
BA0202	舗装版破砕					
	As,t=5cm		m ²	186		歩A・単A
	*** B単 - 14号 ***					
BA0202	舗装版破砕					
	Co,t=10cm		m ²	186		歩A・単A
	*** B単 - 15号 ***					
B02315	殻運搬・処理(産業廃棄物処分費)					
	アスファルト殻		m3	7,197		歩A・単A
	*** B単 - 16号 ***					
B02315	殻運搬・処理(産業廃棄物処分費)					
	コンクリート殻		m3	7,197		歩A・単A
	*** B単 - 17号 ***					
000017	既設側溝撤去復旧					
	B200,18N-8-40,BB		m	6,308		歩A・単A
	*** B単 - 18号 ***					
000018	既設側溝撤去復旧					
	U300,既設材流用		m	5,586		歩A・単A
	*** B単 - 19号 ***					
000019	既設側溝撤去復旧					
	U400,既設材流用		m	5,586		歩A・単A
	*** B単 - 20号 ***					
000020	既設側溝撤去復旧					
	U600,既設材流用		m	5,586		歩A・単A
	*** B単 - 21号 ***					
BA0805	上層路盤(車道・路肩部)					
	M-40,t=10cm		m ²	640		歩A・単A
	*** B単 - 22号 ***					
BA0809	表層(車道・路肩部)					

九州農政局

事業名	防災情報ネットワーク事業
工事名	多良岳地区奥山頭首工付帯工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** B単 - 1号 ***					
BA0103	床掘り		m3		1,000 m3	歩A 当たり算出
SA0103	SP 床掘り 土砂,上記以外(小規模),-,-,	1,000	m3	1,984	1,984	S単 20号
	合 計				1,984	
	単 価				1,984	
	*** B単 - 2号 ***					
B01209	埋戻		m3		76,000 m3	歩A 当たり算出
S01041	人土工(盛土・埋戻) 粘性土・礫質土,埋戻,はね付け+まき出し,人力タコ	24,000	m3	3,813	91,512	S単 1号
S01041	人土工(盛土・埋戻) 粘性土・礫質土,埋戻,はね付け+まき出し,振動コバ`タ()	38,000	m3	3,299	125,362	S単 2号
S01041	人土工(盛土・埋戻) 粘性土・礫質土,埋戻,はね付け+まき出し,振動コバ`タ()	14,000	m3	3,299	46,186	S単 2号
	合 計				263,060	
	単 価				3,461	
	*** B単 - 3号 ***					
B01210	作業残土処理		m3		1,000 m3	歩A 当たり算出
S02123	残土処分費	1,000	m3	1,200	1,200	S単 5号
SA0121	SP 土砂等運搬 小規模,バ`タ約山積0.28m3(平積0.2m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,35.0 km以下	1,000	m3	5,282	5,282	S単 21号
	合 計				6,482	
	単 価				6,482	
	*** B単 - 4号 ***					
B07301	砂基礎 その他購入土		m3		1,000 m3	歩A 当たり算出
S07001	バイブライン基礎 砂・砂質土,その他購入土,山積0.28m3(平積0.20m3),振動コバ`タ,区分 ,あり, なし	1,000	m3	3,719	3,719	S単 12号
S02116	山土砂	1,320	m3	2,000	2,640	S単 4号
	合 計				6,359	
	単 価				6,359	
	*** B単 - 5号 ***					
B07231	埋設表示テープ		m		1,000 m	歩A 当たり算出
S42111	埋設標識シート・地中埋設標識設工 ,埋設標識シート,,幅150mm、50m巻、2倍`リフレクタ	1,000	m	239	239	S単 16号
	合 計				239	
	単 価				239	
	*** B単 - 6号 ***					
000006	電線管敷設 FEP 65		m		1,000 m	歩A 当たり算出
S42100	電線管敷設工 ,その他,-,-,地 中 (道路沿),0.5,0.00,無,無,無	1,000	m	120	120	S単 14号
	合 計				120	
	単 価				120	
	*** B単 - 7号 ***					

事業名	防災情報ネットワーク事業				
工事名	多良岳地区奥山頭首工付帯工事				

コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
000007	電線管敷設 FEP_50		m		1.000 m	歩A 当たり算出
S42100	電線管敷設工 、その他、-、-、地 中 (道路沿)、0.5、0.00、無、無、無	1.000	m	120	120	S 単 14号
	合 計				120	
	単 価				120	
	*** B 単 - 8号 ***					
000008	電線管敷設 FEP_30		m		1.000 m	歩A 当たり算出
S42100	電線管敷設工 、その他、-、-、地 中 (道路沿)、0.5、0.00、無、無、無	1.000	m	120	120	S 単 14号
	合 計				120	
	単 価				120	
	*** B 単 - 9号 ***					
000009	ケーブル接続		式		1.000 式	歩A 当たり算出
S42123	光ケーブル接続工 光ケーブル直線接続・成端、直線接続、5テープ(心)以下、,,	7.000	箇所	46,045	322,315	S 単 18号
S42123	光ケーブル接続工 光ケーブル接続損失試験,,,,,20心以下	1.000	対向	23,628	23,628	S 単 19号
S42107	通信・制御ケーブル端子接続工 制御ケーブル(端子接続),,30心以下,,標準	7.000	箇所	16,832	117,824	S 単 15号
T00002	電力ケーブル接続 CV,14sq,4C	7.000	箇所	7,214	50,498	T 単 1号
	合 計				514,265	
	単 価				514,265	
	*** B 単 - 10号 ***					
000010	ハンドホール 600×600×600		基		1.000 基	歩A 当たり算出
S42112	ハンドホール設置工 600×600×600,2000kg以下kg,1.0m未満m,あり,あり,	1.000	基	125,554	125,554	S 単 17号
	合 計				125,554	
	単 価				125,554	
	*** B 単 - 11号 ***					
BA0203	舗装版切断 As,t=5cm		m		1.000 m	歩A 当たり算出
SA0223	SP 舗装版切断 アスファルト舗装版,15cm以下,-,-	1.000	m	542.2	542	S 単 26号
	合 計				542	
	単 価				542	
	*** B 単 - 12号 ***					
BA0203	舗装版切断 Co,t=10cm		m		1.000 m	歩A 当たり算出
SA0223	SP 舗装版切断 コンクリート舗装版,-,15cm以下,-	1.000	m	1,038	1,038	S 単 27号
	合 計				1,038	
	単 価				1,038	
	*** B 単 - 13号 ***					
BA0202	舗装版破砕 As,t=5cm		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
SA0222	SP 舗装版破砕 アスファルト舗装版,無し,不要,15cm以下,-,有り,なし	1.000	m ²	185.7	186	S 単 24号
	合 計				186	
	単 価				186	

事業名	防災情報ネットワーク事業				
工事名	多良岳地区奥山頭首工付帯工事				

コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** B 単 - 14号 ***					
BA0202	舗装版破砕 Co, t=10cm		m ²		1,000	歩A 当たり算出
SA0222	SP 舗装版破砕 コンクリート舗装版, 無し, 不要, 15cm以下, -, 有り, なし	1.000	m ²	185.7	186	S 単 25号
	合 計				186	
	単 価				186	
	*** B 単 - 15号 ***					
B02315	殻運搬・処理 (産業廃棄物処分費) アスファルト殻		m ³		1,000	歩A 当たり算出
S02123	建設廃材 アスファルトコンクリート廃材	1.000	m ³	2,500	2,500	S 単 6号
SA0221	SP 殻運搬 舗装版破砕, 機械積込 (舗装版厚15cm以下), 無し, 22.0km以下,	1.000	m ³	4,697	4,697	S 単 22号
	合 計				7,197	
	単 価				7,197	
	*** B 単 - 16号 ***					
B02315	殻運搬・処理 (産業廃棄物処分費) コンクリート殻		m ³		1,000	歩A 当たり算出
S02123	建設廃材 無筋コンクリート廃材	1.000	m ³	2,500	2,500	S 単 7号
SA0221	SP 殻運搬 舗装版破砕, 機械積込 (舗装版厚15cm以下), 無し, 22.0km以下,	1.000	m ³	4,697	4,697	S 単 22号
	合 計				7,197	
	単 価				7,197	
	*** B 単 - 17号 ***					
000017	既設側溝撤去復旧 B200, 18N-8-40, BB		m		1,000	歩A 当たり算出
S02721	【構造物取壊し】 無筋, 制約無, 機械, 昼間施工, しない	0.120	m ³	7,759	931	S 単 8号
S02123	建設廃材 無筋コンクリート廃材	0.120	m ³	2,500	300	S 単 7号
SA0221	SP 殻運搬 コンクリート (無筋) 構造物とりこわし, 機械積込, 無し, 18.5km以下,	0.120	m ³	2,392	287	S 単 23号
SA0311	SP コンクリート 小型構造物, A' ヲ約 (クレン機能付) 打設, 計上する, -, 一般養生, -, -, -, なし, 18-8-40 (普通) W/C65%	0.120	m ³	14,170	1,700	S 単 28号
SA0312	SP 型枠 一般型枠, 小型構造物	0.400	m ²	7,726	3,090	S 単 29号
	合 計				6,308	
	単 価				6,308	
	*** B 単 - 18号 ***					
000018	既設側溝撤去復旧 U300, 既設材流用		m		0.500	歩A 当たり算出
S05801	【排水構造物工】 U型側溝, 昼間施工, L=600, 60kg/個以下, なし, -, -, -, 再利用撤去を行なう	0.500	m	1,831	916	S 単 9号
S05801	【排水構造物工】 U型側溝, 昼間施工, L=600, 60kg/個以下, なし, -, -, 基礎砕石の施工無し, 再利用撤去を行なわない	0.500	m	3,125	1,563	S 単 10号
S05801	【排水構造物工】 蓋版, 昼間施工, コンクリート 鋼製, 40kg/枚以下, なし, -, -, -, 再利用撤去を行なわない	1.000	枚	314	314	S 単 11号
	合 計				2,793	
	単 価				5,586	
	*** B 単 - 19号 ***					
000019	既設側溝撤去復旧 U400, 既設材流用		m		0.500	歩A 当たり算出

[illegible]

事業名	防災情報ネットワーク事業
工事名	多良岳地区奥山頭首工付帯工事

コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S単 - 1号 ***					
S01041	人力土工(盛土・埋戻)					
	人力土工(盛土・埋戻)					
	粘性土・礫質土,埋戻,はね付け+まき出し,人力タコ	m3		3,813		歩A・単A
	*** S単 - 2号 ***					
S01041	人力土工(盛土・埋戻)					
	人力土工(盛土・埋戻)					
	粘性土・礫質土,埋戻,はね付け+まき出し,振動コバ`タ()	m3		3,299		歩A・単A
	*** S単 - 3号 ***					
S02115	電工					
	電工					
			人	24,045		歩A・単A
	*** S単 - 4号 ***					
S02116	山土砂					
	山土砂					
		m3		2,000		歩A・単A
	*** S単 - 5号 ***					
S02123	残土処分費					
	残土処分費					
		m3		1,200		歩A・単A
	*** S単 - 6号 ***					
S02123	建設廃材					
	建設廃材					
	アスファルトコンクリート廃材	m3		2,500		歩A・単A
	*** S単 - 7号 ***					
S02123	建設廃材					
	建設廃材					
	無筋コンクリート廃材	m3		2,500		歩A・単A
	*** S単 - 8号 ***					
S02721	【構造物取壊し】					
	【構造物取壊し】					
	無筋,制約無,機械,昼間施工,しない	m3		7,759		歩A・単A
	*** S単 - 9号 ***					
S05801	【排水構造物工】					
	【排水構造物工】					
	U型側溝,昼間施工,L=600,60kg/個以下,なし,-,-,-,再利用撤去を行なう	m		1,831		歩A・単A
	*** S単 - 10号 ***					
S05801	【排水構造物工】					
	【排水構造物工】					
	U型側溝,昼間施工,L=600,60kg/個以下,なし,-,-,-,基礎砕石の施工無し,再利用撤去を行なわない	m		3,125		歩A・単A
	*** S単 - 11号 ***					
S05801	【排水構造物工】					
	【排水構造物工】					
	蓋版,昼間施工,コンクリート 鋼製,40kg/枚以下,なし,-,-,-,再利用撤去を行なわない	枚		314		歩A・単A
	*** S単 - 12号 ***					
S07001	パイプライン基礎					
	パイプライン基礎					
	砂・砂質土,その他購入土,山積0.28m3(平積0.20m3),振動コバ`タ,区分 ,あり,	m3		3,719		歩A・単A
	なし					
	*** S単 - 13号 ***					
S08031	コンクリート舗装工(人力)					
	コンクリート舗装工(人力)					
	圧縮強度18N/mm2粗骨材25mm(高炉B),10cm	m ²		2,325		歩A・単A
	*** S単 - 14号 ***					
S42100	電線管敷設工					
	電線管敷設工					
	,その他,-,-,地 中 (道路沿),0.5,0.00,無,無,無	m		120		歩A・単A
	*** S単 - 15号 ***					
S42107	通信・制御ケーブル端子接続工					
	通信・制御ケーブル端子接続工					
	制御ケーブル(端子接続),,30心以下,,標準	箇所		16,832		歩A・単A
	*** S単 - 16号 ***					
S42111	埋設標識シート・地中埋設標識敷設工					
	埋設標識シート・地中埋設標識敷設工					
	,埋設標識シート,,幅150mm,50m巻,2倍`リフレン`タ	m		239		歩A・単A
	*** S単 - 17号 ***					
S42112	ハンドホール設置工					
	ハンドホール設置工					
	600×600×600,2000kg以下kg,1.0m未満m,あり,あり,	基		125,554		歩A・単A
	*** S単 - 18号 ***					
S42123	光ケーブル接続工					
	光ケーブル接続工					
	光ケーブル直線接続・成端,直線接続,5テブ(心)以下,,,	箇所		46,045		歩A・単A
	*** S単 - 19号 ***					
S42123	光ケーブル接続工					
	光ケーブル接続工					
	光ケーブル接続損失試験,,,,,20心以下	対向		23,628		歩A・単A
	*** S単 - 20号 ***					
SA0103	SP 床掘り					
	SP 床掘り					
	土砂,上記以外(小規模),,-,-,	m3		1,984		歩A・単A
	*** S単 - 21号 ***					
SA0121	SP 土砂等運搬					

事業名	防災情報ネットワーク事業
工事名	多良岳地区奥山頭首工付帯工事

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S単 - 1号 ***					
S01041	人力土工(盛土・埋戻)		m3		10,000 m3	歩A 当たり算出
	人力土工(盛土・埋戻) 粘性土・礫質土,埋戻,はね付け+まき出し,人力タコ			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)土質区分	粘性土・礫質土		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)作業区分	埋戻		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)施工区分	はね付け+まき出し		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	4)締固め区分	人力タコ				
R01003	普通作業員	2.040	人	18,690	38,128	
	合 計				38,128	算出数量 10.000 m3
	単 価		m3		3,813	
	*** S単 - 2号 ***					
S01041	人力土工(盛土・埋戻)		m3		10,000 m3	歩A 当たり算出
	人力土工(盛土・埋戻) 粘性土・礫質土,埋戻,はね付け+まき出し,振動コバクタ()			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)土質区分	粘性土・礫質土		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)作業区分	埋戻		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)施工区分	はね付け+まき出し		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	4)締固め区分	振動コバクタ()				
R01002	特殊作業員	0.340	人	21,735	7,390	
R01003	普通作業員	1.330	人	18,690	24,858	
Y00004	諸雑費 10%	0.100		7,390	739	
	合 計				32,987	算出数量 10.000 m3
	単 価		m3		3,299	
	*** S単 - 3号 ***					
S02115	電工		人		1,000 人	歩A 当たり算出
	電工			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード	R01013		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)労務単価算定区分	基(B)		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
R01013	電工	1.000	人	24,045	24,045	
	合 計				24,045	算出数量 1.000 人
	単 価				24,045	
	*** S単 - 4号 ***					
S02116	山土砂		m3		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	山土砂			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)資材区分	地区資材(Jコード)		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)地域資材単価コード(P)			基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)地区資材単価コード(J)	J03206		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	4)施設機械資材単価コード(K)					
J03206	山土砂	1.000	m3	2,000	2,000	
	合 計				2,000	算出数量 1.000 各単位
	単 価				2,000	
	*** S単 - 5号 ***					
S02123	残土処分費		m3		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	残土処分費			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)地域資材単価コード	P96002		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)資材規格			基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)単価の入力	1,200円		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	

事業名	防災情報ネットワーク事業				
工事名	多良岳地区奥山頭首工付帯工事				

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
P96002	残土処分費	1.000	m3	1,200	1,200	
	合 計				1,200	算出数量 1.000 各単位
	単 価				1,200	
	*** S単 - 6号 ***					
S02123	建設廃材		m3		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	建設廃材 アスファルトコンクリート廃材			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)地域資材単価コード	P52003		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)資材規格	アスファルトコンクリート廃材		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)単価の入力	2,500円		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
P52003	建設廃材 アスファルトコンクリート廃材	1.000	m3	2,500	2,500	
	合 計				2,500	算出数量 1.000 各単位
	単 価				2,500	
	*** S単 - 7号 ***					
S02123	建設廃材		m3		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	建設廃材 無筋コンクリート廃材			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)地域資材単価コード	P52001		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)資材規格	無筋コンクリート廃材		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)単価の入力	2,500円		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
P52001	建設廃材 無筋コンクリート廃材	1.000	m3	2,500	2,500	
	合 計				2,500	算出数量 1.000 各単位
	単 価				2,500	
	*** S単 - 8号 ***					
S02721	【構造物取壊し】		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	【構造物取壊し】 無筋,制約無,機械,昼間施工,しない			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)作業区分	無筋		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)制約状況	制約無		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)施工区分	機械		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	4)施工区分	昼間施工				
	5)低騒音・低振動対策	しない				
A73501	構造物とりこわし工無筋構造物 制約無 機械 機労 昼間	1.000	m3	7,759	7,759	
	合 計				7,759	算出数量 1.000 m3
	単 価		m3		7,759	
	*** S単 - 9号 ***					
S05801	【排水構造物工】		m		1.000 [各単位]	歩A 当たり算出
	【排水構造物工】 U型側溝,昼間施工,L=600,60kg/個以下,なし,-,-,-,再利用撤去を行なう			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)施工区分	U型側溝		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)施工区分	昼間施工		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)規格	L=600		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	4)規格	60kg/個以下				
	5)時間的制約	なし				
	9)法面小段面	-				
	10)法面縦排水	-				
	11)再利用撤去の有無	再利用撤去を行なう				
	12)基礎砕石の施工有無	-				
A71101	排水構造物工 U型側溝 時間的制約無 L=600mm 60kg/個 機・労 昼間単価	1.000	m	1,831	1,831	
	合 計				1,831	算出数量 1.000 [各単位]

事業名	防災情報ネットワーク事業
工事名	多良岳地区奥山頭首工付帯工事

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	単 価		[各単位]		1,831	
	*** S単 - 10号 ***					
S05801	【排水構造物工】 【排水構造物工】 U型側溝、昼間施工、L=600、60kg/個以下、なし、-、-、基礎砕石の施工無し、再利用撤去を行なわない		m		1,000 [各単位]	歩A 当たり算出
	1)施工区分 2)施工区分 3)規格 4)規格 5)時間的制約 9)法面小段面 10)法面縦排水 11)再利用撤去の有無 12)基礎砕石の施工有無	U型側溝 昼間施工 L=600 60kg/個以下 なし - - 再利用撤去を行なわない 基礎砕石の施工無し		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
A71101	排水構造物工 U型側溝 時間的制約無し L=600mm 60kg/個 機・労 昼間単価	1.000	m	3,125	3,125	
	合 計				3,125	算出数量 1.000 [各単位]
	単 価		[各単位]		3,125	
	*** S単 - 11号 ***					
S05801	【排水構造物工】 【排水構造物工】 蓋版、昼間施工、コンクリート・鋼製、40kg/枚以下、なし、-、-、再利用撤去を行なわない		枚		1,000 [各単位]	歩A 当たり算出
	1)施工区分 2)施工区分 3)規格 4)規格 5)時間的制約 9)法面小段面 11)再利用撤去の有無 12)基礎砕石の施工有無	蓋版 昼間施工 コンクリート・鋼製 40kg/枚以下 なし - 再利用撤去を行なわない -		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
A71501	排水構造物工 蓋版 時間的制約無し コンクリート・鋼製 40kg/枚 機・労 昼間単価	1.000	枚	313.90	314	
	合 計				314	算出数量 1.000 [各単位]
	単 価		[各単位]		314	
	*** S単 - 12号 ***					
S07001	パイプライン基礎 パイプライン基礎 砂・砂質土、その他購入土、山積0.28m3(平積0.20m3)、振動コンパクタ、区分、あり、なし		m3		10,000 m3	歩A 当たり算出
	1)基礎区分 2)材料区分 3)バック材規格 4)締固め機械 5)締固め区分 6)単価0円区分(基礎材) 7)長期割引単価区分(賃料機械)	砂・砂質土 その他購入土 山積0.28m3(平積0.20m3) 振動コンパクタ 区分 あり なし		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
J03208	購入土	13.200	m3	0	0	
R01001	土木一般世話役	0.250	人	26,145	6,536	
R01003	普通作業員	0.920	人	18,690	17,195	
R01002	特殊作業員	0.200	人	21,735	4,347	
Y00004	諸雑費 12%	0.120		4,347	522	
F08011	バック材[加圧型・超低・排対型(～3次)] 山積0.28m3(平積0.20m3)	0.300	日	8,790	2,637	
P34029	軽油 バック材給油	6.300	L	137	863	
R01021	運転手(特殊)	0.190	人	26,775	5,087	

事業名	防災情報ネットワーク事業
工事名	多良岳地区奥山頭首工付帯工事

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	合 計				37,187	算出数量 10.000 m3
	単 価		m3		3,719	
	*** S 単 - 13号 ***					
S08031	コンクリート舗装工(人力)		m ²		100.000 m ²	歩A 当たり算出
	コンクリート舗装工(人力) 圧縮強度18N/mm2粗骨材25mm(高炉B),10cm			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)生コンクリート規格 2)舗設厚(cm)	圧縮強度18N/mm2粗骨材25mm(高炉B) 10cm		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:4週8休以上	
J02054	生コンクリート(高炉B) 18N/mm2 8cm 25(20)mm(W/C=65%以下)	10.600	m3	14,600	154,760	
R01001	土木一般世話役	0.500	人	26,145	13,073	
R01002	特殊作業員	1.100	人	21,735	23,909	
R01003	普通作業員	2.100	人	18,690	39,249	
Y00004	雑品 2%	0.020		76,231	1,525	
	合 計				232,516	算出数量 100.000 m ²
	単 価		m ²		2,325	
	*** S 単 - 14号 ***					
S42100	電線管敷設工		m		100.000 m	歩A 当たり算出
	電線管敷設工 その他、-, -, 地 中 (道路沿), 0.5, 0.00, 無, 無, 無			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)管種別	その他		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)細別規格	-		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	3)サイズ(mm)	-				
	4)施工区分	地 中 (道路沿)				
	5)その他の場合の電線管 1m 当り単価	0				
	6)その他の場合100m 当り電工労務(人)	0.500				
	7)その他の場合の諸資材率	0.00				
	8)クリップ留めの歩掛補正区分	無				
	9)直線部分の歩掛補正区分	無				
	10)高所作業の歩掛補正区分	無				
	11)その他の場合の補助文					
P27838	電気材料及び機器	100.000	m	0	0	
Y00005	諸資材	0.000		0	0	
R01013	電工	0.500	人	24,045	12,023	
	合 計				12,023	算出数量 100.000 m
	単 価		m		120	
	*** S 単 - 15号 ***					
S42107	通信・制御ケーブル端子接続工		箇所		1.000 箇所	歩A 当たり算出
	通信・制御ケーブル端子接続工 制御ケーブル(端子接続), 30心以下, 標準			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)ケーブル接続	制御ケーブル(端子接続)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)作業種別	標準		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	5)細別	30心以下				
R01013	電工	0.700	人	24,045	16,832	
	合 計				16,832	算出数量 1.000 箇所
	単 価		箇所		16,832	
	*** S 単 - 16号 ***					
S42111	埋設標識シート・地中埋設標識敷設工		m		100.000 [各単位]	歩A 当たり算出
	埋設標識シート・地中埋設標識敷設工 埋設標識シート, 幅150mm, 50m巻, 2倍が リフレクタ			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	

事業名	防災情報ネットワーク事業
工事名	多良岳地区奥山頭首工付帯工事

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	1)作業種別	埋設標識シート		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	3)規格	幅150mm、50m巻、2倍幅 リフレクタ		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	4)その他の埋設標識シート1.0m当り単価	0		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	5)地中埋設標1.0個当り単価	0				
	6)その他の埋設シート又は埋設標の規格					
P39101	埋設物標示テープ					
	幅150mm 50m 2倍幅 リフレクタ	2.000	巻	7,120	14,240	
R01013	電工	0.400	人	24,045	9,618	
	合 計				23,858	算出数量 100.000 [各単位]
	単 価		[各単位]		239	
Y00001	埋設標識シート					
	*** S単 - 17号 ***					
S42112	ハンドホール設置工		基		10.000 基	歩A 当たり算出
	ハンドホール設置工			時間的制約:なし	制約作業時間:0.0	
	600×600×600、2000kg以下kg、1.0m未満m、あり、あり、			夜間制約作業時間:0.0	冬期補正:なし	
	1)ハンドホール区分(W×D×H)	600×600×600		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)その他の場合ハンドホール1基当り単価	0円		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)1基当たり質量(kg/基)	2000kg以下kg		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	4)内径(m)	1.0m未満m				
	5)基礎砕石	あり				
	6)敷材	あり				
	7)その他の場合の補助文					
P27813	ハンドホール(鉄蓋付)					
	H1-6 600×600×600(国交省型)	10.000	組	99,100	991,000	
R01001	土木一般世話役	1.600	人	26,145	41,832	
R01002	特殊作業員	0.300	人	21,735	6,521	
R01003	普通作業員	3.800	人	18,690	71,022	
MO2093	バックホウ[加圧型・クレーン機能付き・排対型(1次)]					
	標準バックホウ容量 山積0.45m3(平積0.35m3) 吊能力2.9t	14.900	時間	2,740	40,826	
R01021	運転手(特殊)	2.380	人	26,775	63,725	
P34029	軽油					
	バックホウ給油	137.000	L	137	18,769	
Y00004	基礎砕石費	0.080		242,695	19,416	
Y00004	雑品					
	1%	0.010		242,695	2,427	
	合 計				1,255,538	算出数量 10.000 基
	単 価		基		125,554	
	*** S単 - 18号 ***					
S42123	光ケーブル接続工		箇所		1.000 [各単位]	歩A 当たり算出
	光ケーブル接続工			時間的制約:なし	制約作業時間:0.0	
	光ケーブル直線接続・成端、直線接続、5テープ(心)以下、...			夜間制約作業時間:0.0	冬期補正:なし	
	1)ケーブル接続	光ケーブル直線接続・成端		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)作業種別1	直線接続		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)ケーブル心数	5テープ(心)以下		深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
R03003	電気通信技術者	0.760	人	36,225	27,531	
R03004	電気通信技術員	0.760	人	24,360	18,514	
	合 計				46,045	算出数量 1.000 [各単位]
	単 価		[各単位]		46,045	
Y00001	光ケーブル直線接続・成端					
	*** S単 - 19号 ***					
S42123	光ケーブル接続工		対向		1.000 [各単位]	歩A 当たり算出
	光ケーブル接続工			時間的制約:なし	制約作業時間:0.0	
	光ケーブル接続損失試験、...,20心以下			夜間制約作業時間:0.0	冬期補正:なし	
	1)ケーブル接続	光ケーブル接続損失試験		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	6)細別規格2	20心以下		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	

事業名	防災情報ネットワーク事業
工事名	多良岳地区奥山頭首工付帯工事

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
R03003	電気通信技術者	0.390	人	36,225	14,128	
R03004	電気通信技術員	0.390	人	24,360	9,500	
	合 計				23,628	算出数量 1.000 [各単位]
	単 価		[各単位]		23,628	
Y00001	光ケーブル接続損失試験					
	*** S単 - 20号 ***					
SA0103	SP 床掘り		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 床掘り 土砂,上記以外(小規模),-,-,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)土質 2)施工方法 3)土留方式の種類 4)障害の有無	土砂 上記以外(小規模) - -				
	単 価		m3		1,984	
	*** S単 - 21号 ***					
SA0121	SP 土砂等運搬		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 土砂等運搬 小規模,ﾊﾞｯｸﾗｯｸ山積0.28m3(平積0.2m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む) ,無し,35.0km以下			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)土砂等発生現場 2)積込機種・規格 3)土質 4)D1D区間の有無 5)運搬距離	小規模 ﾊﾞｯｸﾗｯｸ山積0.28m3(平積0.2m3) 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 無し 35.0km以下				
	単 価		m3		5,282	
	*** S単 - 22号 ***					
SA0221	SP 殻運搬		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 殻運搬 舗装版破碎,機械積込(舗装版厚15cm以下),無し,22.0km以下,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)殻発生作業 2)積込工法区分 3)D1D区間の有無 4)運搬距離	舗装版破碎 機械積込(舗装版厚15cm以下) 無し 22.0km以下				
	単 価		m3		4,697	
	*** S単 - 23号 ***					
SA0221	SP 殻運搬		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 殻運搬 ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし,機械積込,無し,18.5km以下,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)殻発生作業 2)積込工法区分 3)D1D区間の有無 4)運搬距離	ｺﾝｸﾘｰﾄ(無筋)構造物とりこわし 機械積込 無し 18.5km以下				
	単 価		m3		2,392	

事業名	防災情報ネットワーク事業
工事名	多良岳地区奥山頭首工付帯工事

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S 単 - 24号 ***					
SA0222	SP 舗装版破砕		m ²		1.000 m ²	歩 A 当たり算出
	SP 舗装版破砕 アスファルト舗装版,無し,不要,15cm以下,-,有り,なし			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)舗装版種別	アスファルト舗装版				
	2)障害等の有無	無し				
	3)騒音振動対策	不要				
	4)舗装版厚	15cm以下				
	5)Co+As(加'-)舗装によるAs舗装	-				
	6)積込作業の有無	有り				
	7)長期割引単価区分	なし				
	単 価		m ²		185.7	
	*** S 単 - 25号 ***					
SA0222	SP 舗装版破砕		m ²		1.000 m ²	歩 A 当たり算出
	SP 舗装版破砕 コンクリート舗装版,無し,不要,15cm以下,-,有り,なし			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)舗装版種別	コンクリート舗装版				
	2)障害等の有無	無し				
	3)騒音振動対策	不要				
	4)舗装版厚	15cm以下				
	5)Co+As(加'-)舗装によるAs舗装	-				
	6)積込作業の有無	有り				
	7)長期割引単価区分	なし				
	単 価		m ²		185.7	
	*** S 単 - 26号 ***					
SA0223	SP 舗装版切断		m		1.000 m	歩 A 当たり算出
	SP 舗装版切断 アスファルト舗装版,15cm以下,-,-			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)舗装版種別	アスファルト舗装版				
	2)アスファルト舗装版厚	15cm以下				
	3)コンクリート舗装版厚	-				
	4)コンクリート+アスファルト(加'-)舗装版	-				
	単 価		m		542.2	
	*** S 単 - 27号 ***					
SA0223	SP 舗装版切断		m		1.000 m	歩 A 当たり算出
	SP 舗装版切断 コンクリート舗装版,-,15cm以下,-			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:4週8休以上	
	1)舗装版種別	コンクリート舗装版				
	2)アスファルト舗装版厚	-				
	3)コンクリート舗装版厚	15cm以下				
	4)コンクリート+アスファルト(加'-)舗装版	-				
	単 価		m		1,038	
	*** S 単 - 28号 ***					
SA0311	SP コンクリート		m ³		1.000 m ³	歩 A 当たり算出

事業名	防災情報ネットワーク事業
工事名	多良岳地区奥山頭首工付帯工事

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	SP コンクリート 小型構造物,パ ック絞(クレーン機能付)打設,計上する, -, 一般養生, -, -, -, なし, 18-8-40(普通) W/C65%			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0 豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし 亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0 週休: 4週8休以上	
	1) 構造物種別 2) 打設工法 3) コンクリートの計上 4) 設計日打設置量 5) 養生工の種類 6) 圧送管延長距離区分 7) 現場内小運搬の有無 8) 打設高さ、水平打設距離 9) 長期割引単価区分 10) 規格区分	小型構造物 パ ック絞(クレーン機能付)打設 計上する - 一般養生 - - - なし 18-8-40(普通) W/C65%				
	単 価		m3		14,170	
	*** S 単 - 29号 ***					
SA0312	SP 型枠 SP 型枠 一般型枠, 小型構造物		m ²		1,000 m ²	歩 A 当たり算出
	1) 型枠の種類 2) 構造物の種類	一般型枠 小型構造物		時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0 豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし 亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0 週休: 4週8休以上	
	単 価		m ²		7,726	
	*** S 単 - 30号 ***					
SA0834	SP 上層路盤 (車道・路肩部) SP 上層路盤 (車道・路肩部) 路盤材, 粒度調整砕石 M-40, -, -, 1層施工, なし, 0mm, 100mm		m ²		1,000 m ²	歩 A 当たり算出
	1) 材料区分 2) 平均幅員 3) 瀝青材の有無 4) 路盤材の有無 5) 施工区分 6) 瀝青材区分 7) 長期割引単価区分 8) 瀝青材1層当り平均仕上り厚 9) 路盤材全仕上り厚 11) 材料区分	路盤材 - なし あり 1層施工 - なし 0mm 100mm 粒度調整砕石 M-40		時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0 豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし 亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0 週休: 4週8休以上	
	単 価		m ²		640.3	
	*** S 単 - 31号 ***					
SA0843	SP 表層 (車道・路肩部) SP 表層 (車道・路肩部) 1.4m未満1層仕上厚50mm以下, 50mm, アスファルト混合物 (2.35t/m ³), プ ライムコート 各種, 再生密粒度アスコ(20)		m ²		1,000 m ²	歩 A 当たり算出
	1) 平均幅員 2) 1層当り平均仕上り厚 3) 比重区分 4) 瀝青材料種類 6) 材料区分	1.4m未満1層仕上厚50mm以下 50mm アスファルト混合物 (2.35t/m ³) プライムコート 各種 再生密粒度アスコ(20)		時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0 豪雪補正: なし 基本給時間: 8.0 深夜時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし 亜熱帯補正: なし 超勤時間: 0.0 週休: 4週8休以上	
	単 価		m ²		2,598	

九州農政局

九州農政局

令和5年度防災情報ネットワーク事業
多良岳地区奥山頭首工付帯工事

特別仕様書

九州農政局北部九州土地改良調査管理事務所

第1章 総則

令和5年度防災情報ネットワーク事業 多良岳地区奥山頭首工付帯工事(以下、「本工事」という。)の施工に当たっては、農林水産省農村振興局制定「土木工事共通仕様書」(以下「共通仕様書」という。)に基づいて実施する。

同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特記仕様書によるものとする。

第2章 工事内容

1. 目的

本工事は、防災情報ネットワーク事業において奥山頭首工土砂吐ゲートの付帯工事を行うものである。

2. 工事場所

佐賀県鹿島市大字音成地内

3. 工事概要

本工事は、奥山頭首工土砂吐ゲートの付帯工事で、その概要は次のとおりである。

(1) 配管工

電線管敷設	FEP φ 65	L=763.0m
	FEP φ 50	L=763.0m
	FEP φ 30	L=763.0m

(2) 舗装工

アスファルト舗装	A=242m ²
コンクリート舗装	A=120m ²

4. 工事数量

別紙「工事数量表」のとおりである。

第3章 施工条件

1. 工事期間中の休業日

工事期間中には雨天・休日等28日を見込んでいる。

なお、休業日には、土曜日、日曜日、祝日及び夏期休暇を含んでいる。

2. 施工しない日

原則、土曜日及び日曜日、夏期休暇(8月13日～8月16日)。ただし、週休2日の取得に要する費用の計上の試行工事のうち週休2日の実施に取り組む工事については、提出する実施計画書によるものとする。

3. 工期

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制を確保するため、事前に建設資材、建設労働者などの確保が図られるよう余裕期間を設定した工事である。余裕期間内は、主任技術者又は監理技術者を配置することを要しない。また、現場に搬入しない資材等の手配等を行うことが出来るが、資材の搬入仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、余裕期間内に行う手配等は受注者の責により行うものとする。 工期：工事の始期から110日間 (ただし、令和5年6月29日(工事着手期限日)までに工事を開始すること。)

※契約締結後において、余裕期間内に受注者の準備が整った場合は、監督職員と協議の上、工期に係る契約を変更することにより、工事に着手することができるものとする。な

お、低入札価格調査等により、上記の工事の始期以降に契約締結となった場合には、余裕期間は適用しない。

第4章 現場条件

1. 土質・地質

本工事の施工場所の土質・地質は、軟岩、砂質土、礫質土、粘性土と想定している。

2. 第三者に対する措置

(1) 安全対策

工事期間中における昼夜の安全対策については、交通制限の範囲、標識及び安全施設等の配置について事前に監督職員の承諾を得るものとする。

(2) 保安対策

本工事における交通誘導員は計上していないが、現地の交通状況等により必要な場合は、監督職員と協議するものとする。

(3) その他

既設構造物及び第三者に損害を与えた場合は、受注者の責任で処理するものとする。

3. 配管材

受注者は配管材について、現場の片木山林道脇に存置してある電線管を使用して片木山林道下に埋設する。なお、電線管の規格等については、別紙図面に示すとおりである。また、本配管内部には既に電線等が設置されていることから、埋設に当たっては、切断部以外で断線が生じないように注意して施工するものとする。なお、受注者の過失により断線した場合は、受注者の責任において復旧するものとする。

配管材の埋設が完了した後、通電の確認を行うものとする。

4. 林道

受注者は、前述の配管を行うにあたり、片木山林道を利用することが可能であるが、善良な道路使用にも関わらず路面等の補修が必要となった場合は、監督職員と協議するものとする。

第5章 指定仮設

1. 建設発生土受入地

(1) 建設発生土受入地の位置は下表に示す箇所とし、その名称、搬出予定量は次のとおりであるが、受入地関係者との調整によっては場所等を変更することがある。

名 称	地 先 名	搬出予定量	摘 要
(株) 有明商事	佐賀県藤津郡太良町大浦牛尾呂己 1143-3	6 2 m ³	

(2) 受入地への処分方法は、ダンプ放土とする。

(3) 受入地については建設発生土及び破碎岩の処分費を計上している。

第6章 工事用電力

本工事に使用する電力設備及び電力料金は受注者の負担とし、受注者の責任において準備しなければならない。

第7章 工事用材料

1. 規格及び品質

本工事で使用する主要材料の規格及び品質は次のとおりであり、使用前に試験成績書、見本、カタログ等を監督職員に提出し、承諾を得なければならない。

なお、これ以外の材料についても監督職員が提出を指示する場合がある。

1) コンクリート

コンクリートは、レディーミックスコンクリートとし、種類は次のとおりとする。

種 類	呼び強度 (N/mm ²)	スランプ (cm)	粗骨材の 最大寸法 (mm)	W/C (%)	セメントの 種類	使用目的
無筋コンクリート	18	8	25	65 以下	BB	舗装
無筋コンクリート	18	8	40	65 以下	BB	側溝

※ 粗骨材最大寸法 25mmは、地域的に骨材の入手が困難な場合 20mmの使用を可能とする。

2) アスファルト混合物

混合物の標準配合は、アスファルト舗装要綱によるものとする。

①アスファルト合材 再生密粒度アスコン (20) JIS K 2207

②アスファルト乳剤 PK-3 JIS K 2208

3) 石材

粒度調整碎石 M-40

4) コンクリート二次製品

ハンドホール 600×600×600

5) その他材料

埋設表示テープ 幅 150 mm ダブル ポリエチレン製

路盤紙 クラフト紙

目地板 瀝青質

2. 見本又は資料提出

次に示す材料は、使用前に次の資料を監督職員に提出するものとする。

材 料 名	提 出 物
コンクリート	配合計画書・試験成績書
アスファルト混合物	試験成績書、配合表
アスファルト乳剤	試験成績書、配合表
石材	試験成績表、粒度分布表
コンクリート二次製品	カタログ又は試験成績書等
その他材料	カタログ又は試験成績書等

第8章 施工

1. 一般事項

(1) 基準点

本工事の基準点及び水準点は、別途監督職員の指示による。

(2) 検測又は確認（施工段階確認）

1) 本工事の施工段階確認は、下表に示すとおりである。ただし、確認時期・頻度については、監督職員の指示により変更する場合がある。

2) 下表に示す以外の工種は、自主検査記録を確認する場合があるので、監督職員が求めた場合はこれに応じなければならない。

工種	確認内容	確認時期 (一般監督)	遠隔確認対象	備考
路盤工	厚さ	初期施工段階で1箇所、以降構造変更毎に1箇所	—	

(3) 舗装切断に伴う排水等の処理

舗装切断作業に伴い発生する排水又は切削粉は、直接、現場外に排出することがないよう回収し、汚泥として適正に処理するものとする。なお、空冷式などの排水が発生しない工法を採用した場合に発生する切削粉は、アスファルト・コンクリート塊として取り扱うこと。

2. 再生資源等の利用

(1) 再生資材の利用

受注者は、次に示す再生資材を利用しなければならない。

資 材 名	規 格	備 考 (使用箇所)
再生アスファルト混合物	再生密粒度アスコン(20)	表層

(2) 建設資材等の現場内利用

受注者は、本工事の施工に伴い発生するその他の建設資材廃棄物等も、その利用方法等について監督職員と協議しなければならない。

なお、分別の徹底及び、適切な保管を行うものとする。

3. 建設資材等の搬出

本工事の施工に伴い発生する建設資材廃棄物等を本現場内で利用することが困難な場合は、次に示す処理施設へ搬出するものとするが、これにより難い場合は監督職員と協議するものとする。

建設資材廃棄物	処理施設名	住 所	受入時間	事業区分
無筋コンクリート塊	中野建設(株)	佐賀県嬉野市嬉野町下野乙1012	8:00~17:00	中間処理業者
アスファルト塊	中野建設(株)	佐賀県嬉野市嬉野町下野乙1012	8:00~17:00	中間処理業者

4. 特定建設資材の分別解体等

(1) 本工事における特定建設資材の工程ごとの作業内容及び分別解体等の方法は、次のとおりである。

	工 程	作 業 内 容	分 別 解 体 等 の 方 法
工種ごとの作業内容及び解体方法	①仮設	仮設工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	②土工	土工工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用

	工 程	作 業 内 容	分 別 解 体 等 の 方 法
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	⑥その他 (舗装版取り壊し、現場打側溝)	その他 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input checked="" type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用

5. 土工

(1) 掘削

- 1) 掘削土は埋戻しに流用するものとし、それ以外は建設発生土受入地へ搬出するものとする。
- 2) 過掘が生じた場合は、良質土等で埋戻さなければならない。

(2) 埋戻

- 1) 埋戻土には掘削土を流用するものとする。
- 2) 埋戻土は一層の仕上がり厚さが 30cm 以下となるよう均一にまき出し、施工条件に合った機種 of 締固め機械で最大乾燥密度の 90%以上となるよう締固めを行わなければならない。

6. 配管工

(1) 管体基礎

- 1) 管体基礎は砂質土とし、購入土を使用するものとする。
- 2) 基床部の締固めは、設計の仕上がり厚さを確保し、入念に締固めなければならない。

(2) 配管

- 1) 側溝底版との離隔については、別途監督職員の指示による。
- 2) 片木山林道下においては、一部区間において奥山導水路が埋設されていることから、損傷させることのないよう掘削の際は注意して施工するものとし、損傷させた場合は、受注者の責任において原形復旧するものとする。
- 3) ハンドホール設置に伴い、既設配管・配線を切断しハンドホール内で接続を行うものとする。なお、光ケーブルの接続はクロージャによる接続とする。

7. 道路復旧工

(1) 路盤工

路盤工は、施工条件に合った敷均し機械で路盤材（粒度調整碎石 M-40）を敷均し、振動ローラ（0.8～1.1t 級）等により締め固めなければならない。

(2) アスファルト舗装工

- 1) 表層工の施工にあたっては、プライムコート（アスファルト乳剤 PK-3）を 120 $\frac{\text{kg}}{100 \text{ m}^2}$ 以上を路盤面へ均一に散布し、施工条件に合った機種の締固め機械で締固めを行い、表層との密着を図らなければならない。
- 2) 共通仕様書及び特別仕様書並びに設計図書に明記なき事項については「アスファルト舗装要綱（社）日本道路協会」に準ずるものとする。

(3) コンクリート舗装工

- 1) コンクリート舗装は、路盤紙を敷設し、バイブレータ等で十分締固めた後、養生しなければならない。なお、舗装表面については、ほうき目仕上げとする。
- 2) コンクリート舗装に当たっては、延長 8m に 1 箇所割合で目地を設けるものとする。

第9章 施工管理

1. 主任技術者等の資格

主任技術者または監理技術者の資格は、入札説明書によるものとする。

2. 施工管理

(1) 施工管理の除外項目

施工管理基準に定めている次の項目については、適用除外とする。

1) 道路復旧工

- ①別表第1 直接測定による出来形管理4 舗装工事路盤工のうち、基準高（V）、中心線のズレ（e）、施工延長
- ②別表第1 直接測定による出来形管理4 舗装工事コンクリート舗装工及びアスファルト舗装工のうち、中心線のズレ（e）、施工延長、平坦性（F）
- ③別表第3 品質管理2 土質関係道路工のうち、プルーフローリング

3. 工事写真における黒板情報の電子化について

黒板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に工事写真における黒板の記載情報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化を図るものである。受注者は、工事契約後に監督職員の承諾を得た上で黒板情報の電子化を行うことができる。黒板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の（1）から（4）によりこれを実施するものとする。

(1) 使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等（以下、「機器等」という。）は、「施設機械工事等施工管理基準 第1編 共通編 第2章 撮影記録による出来形管理」に示す項目の電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト（CRYPTREC 暗号リスト）」（URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」）に記載する基準を用いた信憑性確認機能（改ざん検知機能）を有するものを使用するものとする。

(2) 機器等の導入

- 1) 黒板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。
- 2) 受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なければならない。

(3) 黒板情報の電子的記入に関する取扱い

- 1) 受注者は、（1）の機器等を用いて工事写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよいこととする。
- 2) 本工事の工事写真の取扱いは、「施設機械工事等施工管理基準 第1編 共通編 第2章 撮影記録による施工管理」及び「電子化写真データの作成要領（案）」によるものとする。なお、上記1）に示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領（案）6 写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。
- 3) 黒板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黒板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。

(4) 写真の納品

受注者は、（3）に示す黒板情報の電子化を行った写真を、工事完成時に発注者へ納品するものとする。なお、受注者は納品時に URL（https://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index_digital.html）のチェックシステム（信憑性チェックツール）又はチェックシステム（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアを用いて、黒板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するものとする。

(5) 費用

機器等の導入に要する費用は、従来の黒板に代わるものであり、技術管理費の写真管理に要する費用に含まれる。

第10章 条件変更の補足説明

本工事の施工に当たり、自然的又は人為的な施工条件が設計図書等と異なる場合、あるいは設計図書等に明示されていない場合の施工条件の変更に該当する主な事項は、次のとおりである。

1. 土質・地質
2. 転石の出現
3. 湧水の出現
4. 第三者との協議によるもの
5. 地下埋設物（埋蔵文化財を含む）の出現
6. その他

第11章 その他

1. 契約後VE提案

(1) 定義

「VE提案」とは、工事請負契約書第19条の2の規定に基づき、契約締結後、設計図書に定める工事目的物の機能、性能等を低下させることなく請負代金額を低減することを可能とする施工方法等の設計図書の変更について、受注者が発注者に行う提案をいう。

(2) VE提案の意義及び範囲

- 1) VE提案の範囲は、設計図書に定められている内容のうち工事材料及び施工方法等に係る変更により請負代金額の低減を伴うものとし、原則として工事目的物の変更を伴わないものとする。
- 2) ただし、次の提案は、VE提案の範囲に含めないものとする。
 - ① 施工方法等を除く工期の延長等の施工条件の変更を伴う提案
 - ② 工事請負契約書第18条（条件変更等）に基づき条件変更が確認された後の提案
 - ③ 競争参加資格要件として求めた同種工事又は類似工事の範囲を超えるような工事材料、施工方法等の変更の提案

(3) VE提案書の提出

- 1) 受注者は、(2)のVE提案を行う場合、次に掲げる事項をVE提案書（共通仕様書 様式6-1～4）に記載し、発注者に提出しなければならない。
 - ① 設計図書に定める内容とVE提案の内容の対比及び提案理由
 - ② VE提案の実施方法に関する事項（当該提案に係る施工上の条件等を含む）
 - ③ VE提案が採用された場合の工事代金額の概算低減額及び算出根拠
 - ④ 発注者が別途発注する関連工事との関係
 - ⑤ 工業所有権を含むVE提案である場合、その取り扱いに関する事項
 - ⑥ その他VE提案が採用された場合に留意すべき事項
- 2) 発注者は、提出されたVE提案書に関する追加的な資料、図書その他の書類の提出を受注者に求めることができる。
- 3) 受注者は、VE提案を契約締結の日より、当該VE提案に係る部分の施工に着手する日の35日前までに、発注者に提出できるものとする。
- 4) VE提案の提出費用は、受注者の負担とする。

(4) VE提案の適否等

- 1) 発注者は、VE提案の採否について、原則として、VE提案を受領した日の翌

日から14日以内に書面（共通仕様書 様式6-5）により通知するものとする。
ただし、その期間内に通知できないやむを得ない理由があるときは、受注者の同意を得たうえでこの期間を延長することができるものとする

- 2) また、VE提案が適正と認められなかった場合には、その理由を付して通知するものとする。
- 3) VE提案の審査に当たっては、施工の確実性、安全性、設計図書と比較した経済性を評価する。
- 4) 発注者は、VE提案により設計図書の変更を行う場合は、工事請負契約書第19条の2（設計図書の変更に係る受注者の提案）の規定に基づくものとする。
- 5) 発注者は、VE提案により設計図書の変更を行う場合は、工事請負契約書第24条（請負代金額の変更方法等）の規定により請負代金額の変更を行うものとする。
- 6) 前項の変更を行う場合においては、VE提案により請負代金額が低減すると見込まれる額の10分の5に相当する額（以下、「VE管理費」という。）を削減しないものとする。
- 7) VE提案を採用した後、工事請負契約書第18条（条件変更等）の条件変更が生じた場合において、発注者がVE提案に対する変更案を求めた場合、受注者はこれに応じるものとする。
- 8) 発注者は、工事請負契約書第18条（条件変更等）の条件変更が生じた場合には、工事請負契約書第25条（請負代金額の変更方法等）第1項の規定に基づき、請負代金額の変更を行うものとする。VE提案を採用した後、工事請負契約書第18条（条件変更等）の条件変更が生じた場合の前記6)のVE管理費については、変更しないものとする。

ただし、双方の責に帰することができない理由（不可抗力、予測不可能な事由等）により、工事の続行が不可能又は著しく工事低減額が減少した場合においては、発注者と受注者が協議して定めるものとする。

(5) VE提案書の使用

発注者は、VE提案を採用した場合、工業所有権が設定されたものを除き、その内容が一般的に使用されている状態となった場合は、当該工事以外の工事においてその内容を無償で使用する権利を有するものとする。

(6) 責任の所在

発注者がVE提案を適正と認め、設計図書の変更を行った場合においても、VE提案を行った受注者の責任が否定されるものではないこととする。

2. 電子納品

- (1) 工事完成図書を、共通仕様書第1編1-1-37に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

- ・工事完成図書の電子媒体（CD-R又はDVD-R）正副2部
- ・工事完成図書の出力1部（電子媒体の出力、市販のファイル綴じで可）

3. ワンデーレスポンス実施に関する事項

「ワンデーレスポンス」とは、監督職員が受注者からの協議等に対する指示、通知を原則「その日のうち」に回答する対応である。ただし、「その日のうち」の回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答日を通知するなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることである。なお、「その日のうち」とは午前中に協議等が行われたものは、その日のうちに回答することを原則とし、午後には協議等が行われたものは、翌日中に回答するものとする。ただし、原則として閉庁日を除く。

4. 工事の施工効率向上対策

受発注者間の現場条件等の確認の場として、次の会議を設置するので、現場代理人等の受注者代表は、次の事項並びに「工事の施工効率向上対策」（農水省 WEB サイト）を十分に理解のうえ、対応するものとする。

(1) 工事円滑化会議

工事着手時および新工種発生時等において、現場代理人・受注会社幹部並びに事務所長、次長、総括監督員、主任監督員（主催）、監督員が、現場条件、施工計画、工事 工程等について、確認し、円滑な工事の実施を図る工事円滑化会議を開催するものとする。なお、開催日程・出席者・課題等については現場代理人と監督職員の協議により定めるものとする。

(2) 設計変更確認会議

工事完成前に、設計変更手続きや工事検査が円滑に行われるよう、現場代理人・受注会社幹部並びに事務所長、次長、総括監督員、主任監督員（主催）、監督員が工期、設計変更内容等について、確認する設計変更会議を開催するものとする。

なお、開催日程・出席者・課題等については現場代理人と監督職員と協議し定めるものとする。

(3) 工事円滑化会議、設計変更確認会議において確認した事項については、打合せ記録簿（共通仕様書 様式-42）に記録し、相互に確認するものとする。

(4) 建設コンサルタントの出席

上記（1）及び（2）の会議に必要な応じて建設コンサルタントを出席させる場合は、必要経費を積算し、別途契約により対応するものとする。なお、工事受注者の同会議出席に要する経費については、当該工事の現場管理費 中の通信交通費に含まれるものと考えており、開催回数に関らず変更契約の対象としない。

5. 現場環境の改善の試行

本工事は、誰でも働きやすい現場環境（快適トイレ）の整備について、監督職員と協議し、変更契約においてその整備に必要な費用を計上する試行工事である。

(1) 内容

受注者は、現場に以下のア～サの仕様を満たす快適トイレを設置することを原則とする。ただし、シ～チについては、満たしていればより快適に使用できるものと思われる 項目であり、必須ではない。

【快適トイレに求める機能】

- ア 洋式（洋風）便器
- イ 水洗及び簡易水洗機能（し尿処理装置付き含む）
- ウ 臭い逆流防止機能
- エ 容易に開かない施錠機能
- オ 照明設備
- カ 衣類掛け等のフック、又は荷物の置ける棚等（耐荷重を 5 kg 以上とする）

【付属品として備えるもの】

- キ 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示
- ク 周囲からトイレの入口が直接見えない工夫
- ケ サニタリーボックス
- コ 鍵と手洗器
- サ 便座除菌クリーナー等の衛生用品

【推奨する仕様、付属品】

- シ 便房内寸法 900×900mm 以上（面積ではない）
- ス 擬音装置（機能を含む）
- セ 着替え台
- ソ 臭気対策機能の多重化

タ 室内温度の調整が可能な設備

チ 小物置き場（トイレトペーパー予備置き場等）

(2) 快適トイレに要する費用

快適トイレに要する費用については、当初は計上していない。受注者は、上記（１）の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督職員と協議することとし、精算変更時において、見積書を提出するものとする。【快適トイレに求める機能】 ア～カ及び【付属品として備えるもの】 キ～チの費用については、従来品相当を差し引いた後、51,000 円/基・月を上限に設計変更の対象とする。なお、設計変更数量の上限は、男女別で各 1 基ずつ 2 基/工事（施工箇所）までとする。また、運搬・設置費は共通仮設費（率）に含むものとし、2 基/工事（施工箇所）より多く設置する場合や積算上限額を超える費用については、現場環境改善費（率）を想定しており、別途計上は行わない。

(3) 快適トイレの手配が困難な場合は、監督職員と協議のうえ、本項の対象外とする。

6. 週休 2 日による施工

(1) 本工事は、週休 2 日に取り組むことを前提として、労務費、機械経費（賃料）、共通仮設費（率分）、現場管理費（率分）を補正した試行対象工事である。

受注者は、週休 2 日による施工を行わなければならない。なお、受注者の責によらない現場条件・気象条件等により週休 2 日相当の確保が難しいことが想定される場合には監督職員と協議するものとする。

(2) 「週休 2 日」とは、対象期間を通じた現場閉所の日数が、4 週 8 休以上となることをいい、対象期間内の現場閉所日数の割合が 28.5%（8 日／28 日）以上の水準に達する状態をいう。

なお、ここでいう対象期間、現場閉所等の具体的な内容は次のとおりである。

- 1) 対象期間とは、工事着手日から工事完成日までの期間をいう。なお、対象期間において、年末年始を挟む工事では年末年始休暇分として 12 月 29 日から 1 月 3 日までの 6 日間、工事全体を一時中止している期間、余裕工期のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間（受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間など）は含まない。
- 2) 現場閉所とは、現場事務所等での事務作業を含め、1 日を通して現場作業が行われない状態をいう。ただし、現場安全点検や巡視作業等、現場管理上必要な作業を行うことは可とする。
- 3) 降雨、降雪による予定外の現場閉所日についても、現場閉所日数に含めるものとする。

(3) 週休 2 日（4 週 8 休以上）の実施の確認方法は、次によるものとする。

- 1) 受注者は、契約後、週休 2 日の実施計画書を作成し監督職員へ提出する。
- 2) 受注者は、週休 2 日の実施状況を定期的に監督職員へ報告する。なお、週休 2 日の実施状況の報告については、現場閉所実績が記載された日報、工程表や休日等の作業連絡記録、安全教育・訓練等の記録資料等により行うものとする。
- 3) 監督職員は、上記受注者からの報告により週休 2 日の実施状況を確認するものとし、必要に応じて受注者からの聞き取り等を行う。
- 4) 監督職員は、受注者から定期的な報告がない場合や、実施状況が確認できない場合などがあれば、受注者から上記②の記録資料等の提示を求め確認を行うものとする。
- 5) 報告の時期は、受注者と監督職員が協議して定める。

(4) 監督職員が週休 2 日の実施状況について、必要に応じて聞き取り等の確認を行う場合には、受注者は協力するものとする。

- (5) 発注者は、現場閉所を確認した場合は、現場閉所状況に応じた以下に示す補正係数により、労務費、機械経費（賃料）、共通仮設費（率分）、現場管理費（率分）を補正する。

① 補正係数

	4 週 8 休以上 現場閉所率 28.5%（8 日／28 日）以上	4 週 7 休以上 4 週 8 休未満 現場閉所率 25%（7 日／28 日）以上 28.5% 未満	4 週 6 休以上 4 週 7 休未満 現場閉所率 21.4%（6 日／28 日）以上 25%未満
労務費	1.05	1.03	1.01
機械経費（賃料）	1.04	1.03	1.01
共通仮設費（率分）	1.04	1.03	1.02
現場管理費（率分）	1.09	1.07	1.05

② 補正方法

当初積算において 4 週 8 休以上の達成を前提とした補正係数を各経費に乘じている。また、発注者は、現場閉所の達成状況を確認後、4 週 8 休に満たない場合は、工事請負契約書第 25 条の規定に基づき請負代金額のうち、それぞれの経費につき上記①に示す補正係数の表に掲げる現場閉所率に応じた補正係数を用いて補正し、請負代金額を減額変更する。なお 4 週 6 休に満たないもの及び工事着手前に週休 2 日に取り組むことについて監督職員に報告しなかったもの（受注者が週休 2 日の取組を希望しないものを含む）については、当初積算の補正分を全て減ずるものとする。

また、提出された工程表が週休 2 日の取得を前提としていないなど、明らかに受注者側に週休 2 日に取り組む姿勢が見られなかった場合については、契約違反として「地方農政局工事成績等評定実施要領（模範例）の制定について」（平成 15 年 2 月 19 日付け 14 地第 759 号大臣官房地方課長通知。以下「工事成績要領」という。）別紙 8（事業（務）所長用）に示す「7. 法令遵守等」において、点数 10 点を減ずるものとする。

7. 週休 2 日制の促進

- (1) 本工事は、週休 2 日制を促進するため、現場閉所状況に応じて工事成績要領に基づく工事成績評定において加点評価を行うとともに、週休 2 日制工事の促進における履行実績取組証明書（以下「履行実績取組証明書」という。）の発行を行う工事である。
- (2) 発注者は、現場閉所状況が 4 週 8 休以上（現場閉所率 28.5%（8 日／28 日）以上）と確認した場合は、工事成績評定において加点評価するものとする。ただし、工事成績評定に基づく工事成績の合計は 100 点を超えないものとする。なお、加点評価に当たっては、以下のとおりとする。

- ① 他の模範となるような受注企業の働き方改革に係る取組を本工事において実施した場合は、工事成績要領別紙 5 に示す「4. 創意工夫」に、次の評価項目を追加した上で最大 2 点を加点評価する。なお、複数事項への取組や実施状況の内容に応じて 1 点、2 点で評価する。

○監督職員用

【働き方改革】

- ☐ 週休 2 日（4 週 8 休以上）の確保に向けた企業の取組が図られている。
- ☐ 若手や女性技術者の登用など、担い手の確保に向けた取組が図られている。

- ② 現場閉所による週休2日相当（4週8休以上）が達成した場合は、工事成績要領別紙3-1に示す「2. 施工状況（Ⅱ工程管理）」に、次の2つの評価項目を追加し、両方で加点評価する。

ただし、週休2日に満たない（休日率4週6休以上）場合は、「休日の確保を行った。」のみを評価する。

○監督職員用

- | |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 休日の確保を行った。
<input type="checkbox"/> その他〔理由：現場閉所による週休2日（4週8休以上）の確保を行った。〕 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|

○事業（務）所長用

- | |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 工程管理に係る積極的な取組が見られた。
<input type="checkbox"/> その他〔理由：現場閉所により週休2日（4週8休以上）の確保に取り組んだ。〕 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

- ③ 現場閉所による週休2日相当（4週8休以上）が達成したことに加え、対象期間内の全ての土曜及び日曜日に現場閉所を行った場合は、工事成績要領別紙8に示す「7. 法令遵守等」に次の評価項目を追加した上で1点を加点評価する。

○事業（務）所長用

- | |
|-------------------------------------------------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> その他〔理由：現場閉所による週休2日（4週8休以上）の確保を行ったとともに全ての土曜及び日曜日に現場閉所を行った。〕 |
|-------------------------------------------------------------------------------------|

- (3) 監督職員は、受注者からの報告により現場閉所状況が4週6休以上（現場閉所率21.4%（6日/28日）以上）と確認した場合は、履行実績取組証明書を発行するものとする。

8. 総価契約単価合意方式（包括的単価個別合意方式）について

- (1) 本工事は、請負代金額の変更があった場合における変更金額や部分払金額の算定を行う際に用いる単価等をあらかじめ協議し、合意しておくことにより、設計変更や部分払に伴う協議の円滑化に資することを目的として実施する総価契約単価合意方式（包括的 単価個別合意方式）の対象工事である。
- (2) 受発注者間で作成の上合意した単価合意書は、公表するものとする。

9. 熱中症対策に資する現場管理費の補正

- (1) 本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行工事の対象とし、日最高気温の状況に応じた現場管理費の補正を行う対象工事である。
- (2) 用語の具体的な内容は次のとおりである。

1) 真夏日

日最高気温が30℃以上の日をいう。

ただし、新型コロナウイルス感染症対策（フェイスシールド・マスク等）を伴う熱中症予防対策を行った期間においては、日最高気温28℃以上の日とする。

2) 工期

準備・後片付け期間を含めた工期をいう。なお、年末年始休暇分として12月29日から1月3日までの6日間、8月を挟む工事では夏季休暇分として土日以外の3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。

3) 真夏日率

以下の式により算出された率をいう。

$\text{真夏日率} = \text{工期期間中の真夏日} \div \text{工期}$

- (3) 受注者は、工事着手前に工事期間中における気温の計測方法及び計測結果の報告方法を記載した施工計画書を作成し、監督職員へ提出する。

- (4) 気温の計測方法については、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数(WBGT)を用いることを標準とする。なお、WBGTを用いる場合は、WBGTが25℃以上となる日を真夏日と見なす。ただし、これによりがたい場合は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所以外の気象観測所で気象業務法(昭和27年法律第165号)に基づいた気象観測方法により得られた計測結果を用いることも可とする。
- (5) 受注者は、監督職員へ計測結果の資料を提出する。
- (6) 発注者は、受注者から提出された計測結果の資料を基に工期中の日最高気温から真夏日率を算定した上で補正値を算出し、現場管理費率に加算し設計変更を行うものとする。

$$\text{補正値(％)} = \text{真夏日率} \times \text{補正係数※}$$

※ 補正係数：1.2

10. 地域外からの労働者確保に要する間接工事費の設計変更について

- (1) 本工事は、「共通仮設費(率分)のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す費用(以下「実績変更対象費」という。)について、工事実施に当たって積算額と実際の費用に乖離が生じることが考えられる。契約締結後、受注者の責によらない地元調整等により施工計画に変更が生じ、積算基準の金額想定では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象経費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更することができる。
- ・ 営 繕 費：労働者送迎費、宿泊費、借上費
 - ・ 労務管理費：募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用
- (2) 発注者は、契約締結後、受注者からの請負代金内訳書の提出があった場合、共通仮設費及び現場管理費に対する実績変更対象経費の割合(以下「割合」という。)を提示する。
- (3) 受注者は、(2)により発注者から示された割合を参考にして、発注者は別に示す実績変更対象経費に係る費用の内訳を記載した実績変更対象経費に関する実施計画書(以下「計画書」という。)を作成し、監督職員に提出するものとする。
- (4) 受注者は、最終精算変更時点において、発注者が別に示す実績変更対象経費に関する変更実施計画書(以下「変更計画書」という。)を作成するとともに、変更計画書に記載した計上額が証明できる書類(領収書、又は金額の妥当性を証明する金額計算書)を添付して監督職員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。
- (5) 受注者の責めに帰すべき事由による増加費用と認められるものについては、設計変更の対象としない。
- (6) 発注者は、実績変更対象経費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、「土地改良事業等請負工事積算基準に基づき算出した額」から「計画書に記載された共通仮設費(率分)と現場管理費の合計額」を差し引いた後、「(4)の証明書類において妥当性が確認できた費用」を加算して算出した金額を設計変更の対象とする。
- (7) 発注者は、受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合、法的措置、指名停止等の措置を行う場合がある。
- (8) 疑義が生じた場合は、受発注者間で協議するものとする。

11. 現場環境改善費

- (1) 現場環境改善費の内容は以下のとおりとし、原則として計上項目のそれぞれから1内容以上選択し合計5つの内容を実施することとする。ただし、地域の状況・工事内容により組合せ、実施項目数及び実施内容を変更しても良い。詳細については、監督職員と協議実施する。
- なお、内容に変更が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

- (2) 以下に示す内容において、受注者は、具体的な実施内容、実施期間を施工計画書に含めて監督職員に提出するものとする。
- (3) 受注者は、工事完成時に現場環境改善費の実施状況が分かる写真を監督職員に提出するものとする。

計上項目	実施する内容（率計上分）
仮設備関係	①用水・電力等の供給設備 ②緑化・花壇 ③ライトアップ施設 ④見学路及び椅子の設置 ⑤昇降設備の充実 ⑥環境負荷の低減
営繕関係	①現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） ②労働宿舍の快適化 ③デザインボックス（交通誘導警備員待機室） ④現場休憩所の快適化 ⑤健康関連設備及び厚生施設の充実等
安全関係	①工事標識・照明等安全施設のイメージアップ（電光式標識等） ②盗難防止対策（警報器等） ③避暑（熱中症予防）・防寒対策
地域連携	①地域対策費（農家との調整、地域行事等の経費を含む） ②完成予想図 ③工法説明図 ④工事工程表 ⑤デザイン工事看板（各工事PR看板含む） ⑥見学会等の開催（イベント等の実施含む） ⑦見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営 ⑧パンフレット・工法説明ビデオ ⑨社会貢献

12. 新型コロナウイルス感染症に伴う工事で使用する資材等の納期への影響に対する対応について

新型コロナウイルス感染症に伴い、工事で使用する資材、機材及び機器類の納期に影響が生じることを理由に、工期内に工事が完成できないとして、受注者から工期延長の請求があった場合には、工事請負契約書の規定により協議に応じるものとする。また、同様の理由により必要であると認めるときは、工事の一時中止等の適切な措置を行うものとする。

13. 共通仮設費率分の適切な設計変更について

- (1) 本工事は、「共通仮設費（率分）のうち運搬費及び準備費」の下記に示す経費（以下「実績変更対象経費」という。）について、工事実施に当たって積算額と実際の費用に乖離が生じた場合は、実績変更対象経費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点での設計変更することができる。
- 運搬費：建設機械の運搬費
準備費：伐開・除根・除草費
- (2) 発注者は、契約締結後、共通仮設費に対する実績変更対象経費の割合（以下「割合」という。）を提示する。
- (3) 受注者は、(2)により発注者から示された割合を参考にして、実績変更対象経費に係る費用の内訳について設計変更の協議ができるものとする。
- (4) 受注者は、最終精算変更時点において、発注者が別に示す実績変更対象経費に関する内訳書（以下「内訳書」という）を作成するとともに、内訳書に記載した計上額が

証明できる書類（領収書、又は金額の妥当性を証明する金額計算書）を添付して監督職員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。

- （５）受注者の責めに帰すべき事由による増加費用と認められるものについては、設計変更の対象としない。
- （６）発注者は、実績変更対象経費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、「（４）の証明書類において妥当性が確認できた費用」から「算定基準に基づき算出した額」を差し引いて算出した金額を設計変更の対象とする。
- （７）発注者は、受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合、法的措置、指名停止等の措置を行う場合がある。
- （８）疑義が生じた場合は、受発注者間で協議するものとする。

14. CORINS への登録

技術者の従事期間は、契約工期をもって登録することとし、余裕期間を含まないことに留意すること。

第 12 章 定めなき事項

この特別仕様書に定めなき事項または本工事の施工に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

令和5年度
防災情報ネットワーク事業
多良岳地区奥山頭首工付帯工事

工 事 数 量 表

工 種 ・ 種 別 ・ 細 別	規 格	単 位	数 量	備 考
1. 配管工				
(1) 作業土工				
床掘り	土砂	式	1	
埋戻		式	1	
(2) 作業残土処理工				
作業残土処理	土砂 (岩塊・玉石混り土含む)	m3	62	
(3) 管体基礎工				
砂基礎	購入土	m3	25	
(4) 配管工				
埋設表示テープ	幅300mm(150mm×2列)	式	1	
電線管埋設工	φ 65	m	763	
電線管埋設工	φ 50	m	763	
電線管埋設工	φ 30	m	763	
ケーブル接続		式	1	
(5) ハンドホール設置工				
ハンドホール	600×600×600	基	7	
(6) 構造物撤去工				
舗装版切断	As, t=5cm	m	966	
舗装版切断	Co, t=10cm	m	480	
舗装版破碎	As, t=5cm	m ²	242	
舗装版破碎	Co, t=10cm	m ²	120	
殻運搬・処理 (産業廃棄物処分費)	アスファルト殻	m3	12	
殻運搬・処理 (産業廃棄物処分費)	無筋コンクリート殻	m3	12	
既設側溝撤去復旧	B200, 18N-8-40, BB	m	3.0	
既設側溝撤去復旧	U300, 既設材流用	m	1.5	
既設側溝撤去復旧	U400, 既設材流用	m	1.5	
既設側溝撤去復旧	U600, 既設材流用	m	0.5	
(7) 道路復旧工				
上層路盤	t=10cm、M-40	m ²	242	
表層	As, t=5cm	m ²	242	
表層	Co, 18N-8-25, BB, t=10cm	m ²	120	

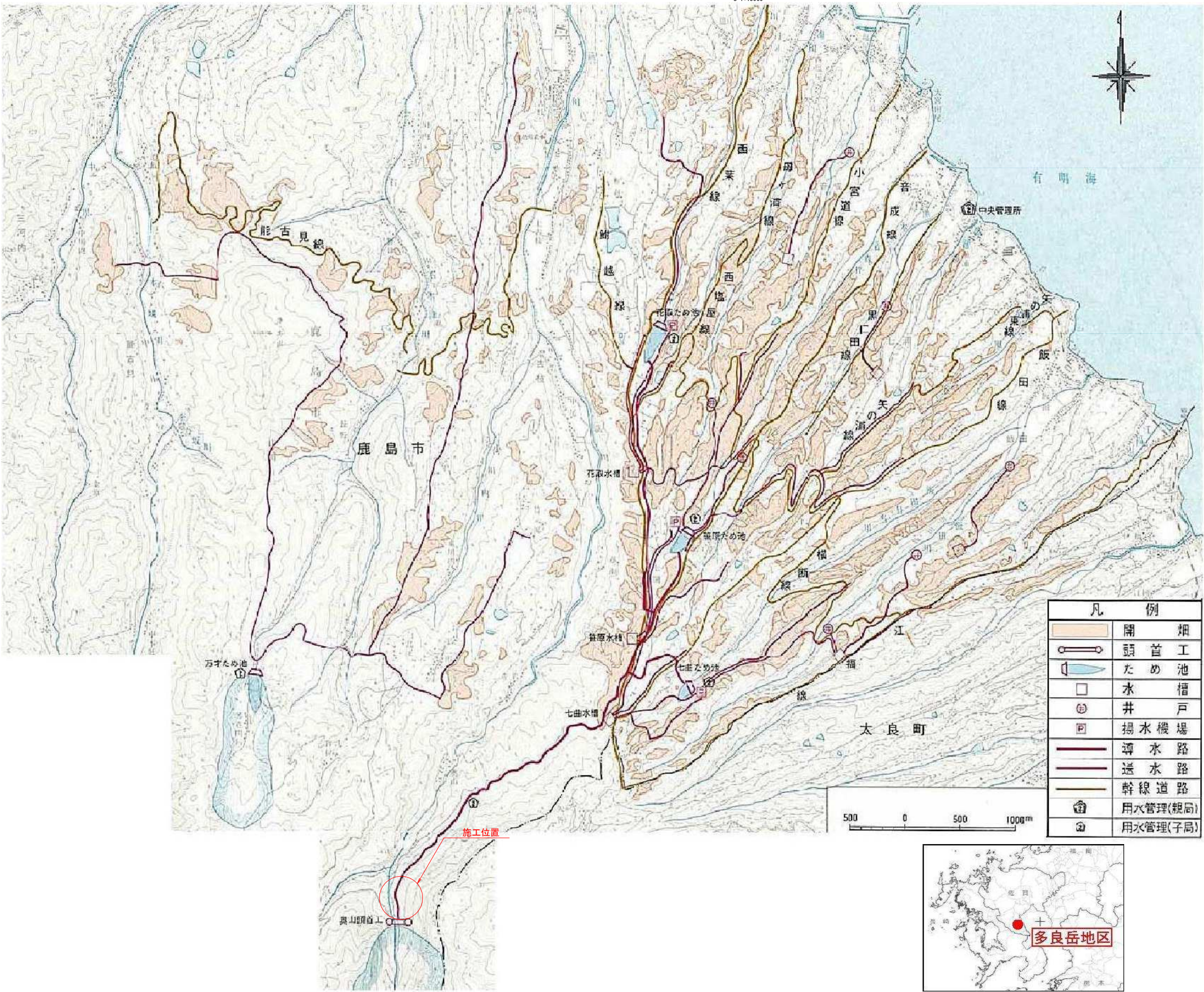
令和5年度防災情報ネットワーク事業
多良岳地区奥山頭首工付帯工事

図面目録

図面番号	図 面 名 称	枚数	備考
1	位置図	1	
2	配管計画図	2	
計		3	

位置図

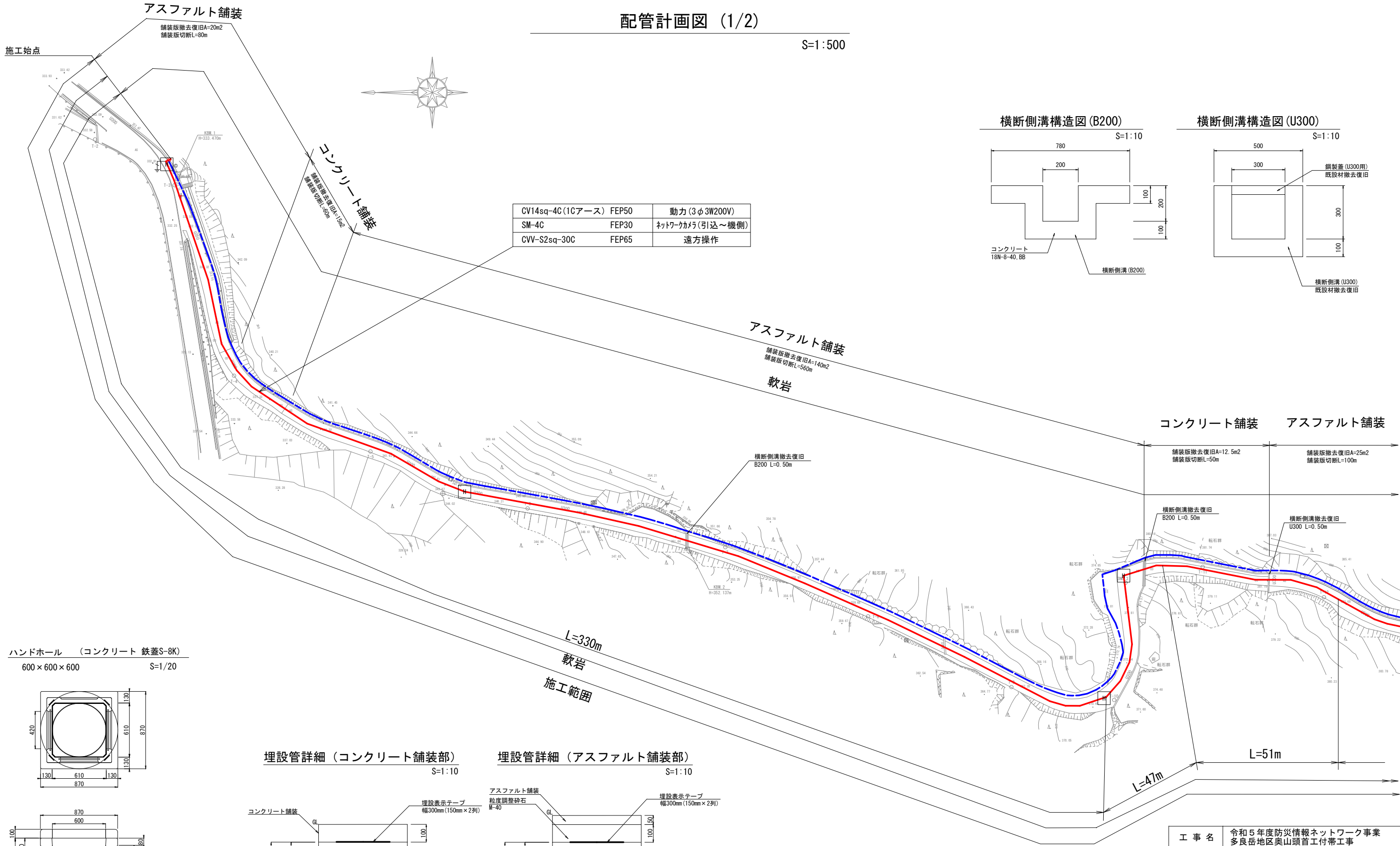
S=1:15000



工事名	令和5年度 防災情報ネットワーク事業 多良岳地区鳥居ダム揚水工等工事		
図面名	位置図		
作成年月日			
縮尺	S=1:15000	図面番号	1
会社名			
事業所名	北部九州土地改良調査管理事務所		

配管計画図 (1/2)

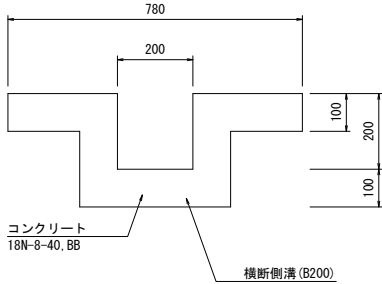
S=1:500



CV14sq-4C (1Cアース) FEP50	動力 (3φ3W200V)
SM-4C FEP30	ネットワークカメラ (引込～機側)
CVV-S2sq-30C FEP65	遠方操作

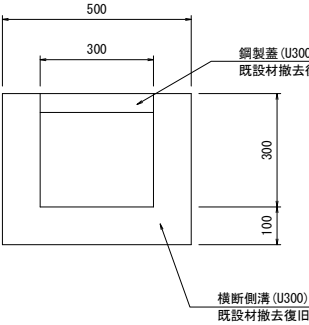
横断側溝構造図 (B200)

S=1:10

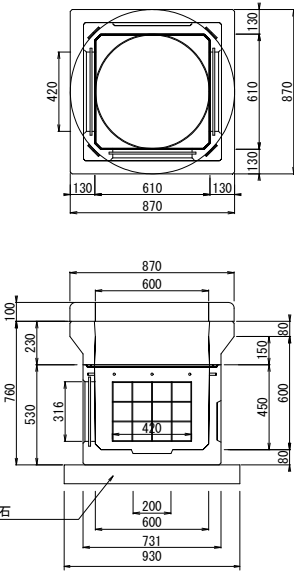


横断側溝構造図 (U300)

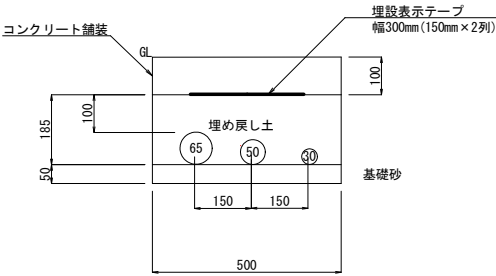
S=1:10



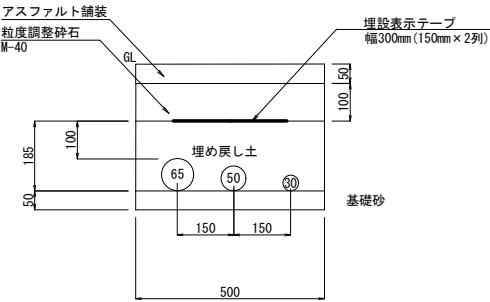
ハンドホール (コンクリート 鉄蓋S-8K)
600×600×600 S=1/20



埋設管詳細 (コンクリート舗装部)
S=1:10



埋設管詳細 (アスファルト舗装部)
S=1:10



- 凡例
- ... 地中配管
 - ... 地上配管 (現状)
 - H ... ハンドホール

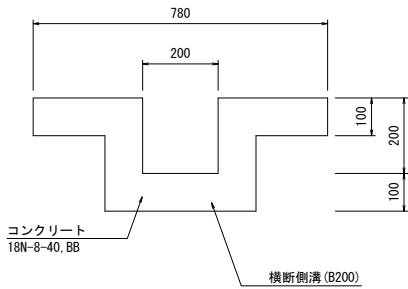
工事名	令和5年度防災情報ネットワーク事業 多良岳地区奥山頭首工付帯工事		
図面名	配管計画図 (1/2)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	2-1/2
会社名			
事業所名	北部九州土地改良調査管理事務所		

配管計画図 (2/2)

S=1:500

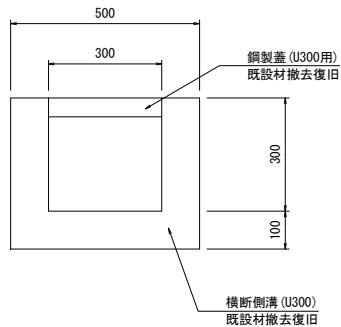
横断側溝構造図 (B200)

S=1:10



横断側溝構造図 (U300)

S=1:10



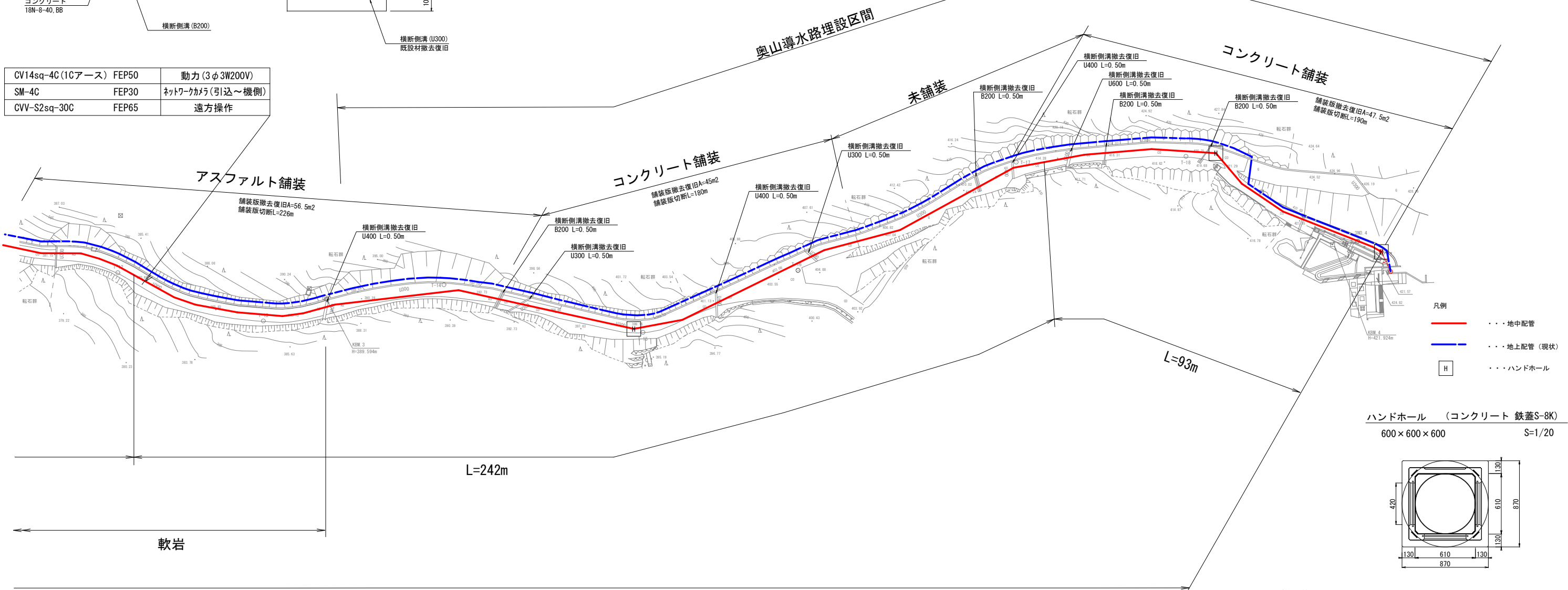
CV14sq-4C (1Cアース) FEP50	動力 (3φ3W200V)
SM-4C FEP30	ネットワークカメラ (引込～機側)
CVV-S2sq-30C FEP65	遠方操作

アスファルト舗装

コンクリート舗装

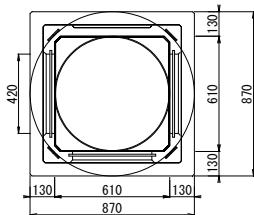
未舗装

コンクリート舗装



- 凡例
- ・・・地中配管
 - ・・・地上配管 (現状)
 - H ・・・ハンドホール

ハンドホール (コンクリート 鉄蓋S-8K)
600×600×600 S=1/20

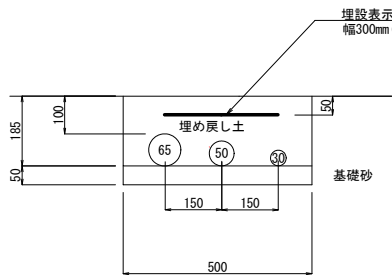


施工範囲

施工終点

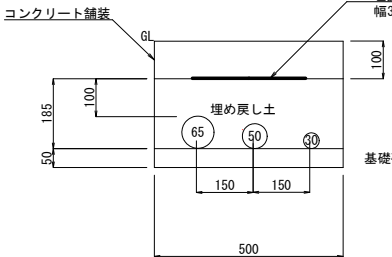
埋設管詳細 (未舗装部)

S=1:10



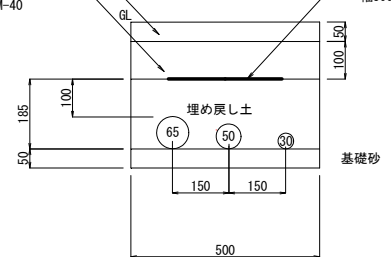
埋設管詳細 (コンクリート舗装部)

S=1:10



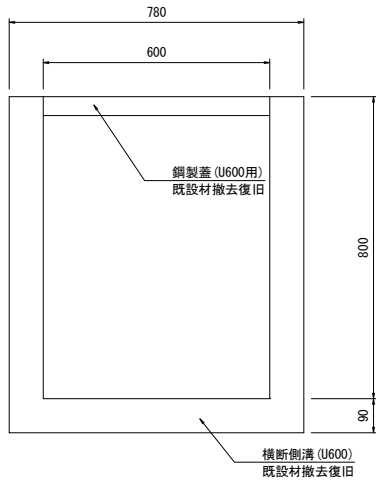
埋設管詳細 (アスファルト舗装部)

S=1:10



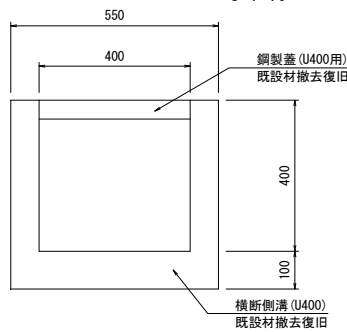
横断側溝構造図 (U600)

S=1:10



横断側溝構造図 (U400)

S=1:10



工事名	令和5年度防災情報ネットワーク事業 多良岳地区奥山頭首工付帯工事		
図面名	配管計画図 (2/2)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	2-2/2
会社名			
事務所名	北部九州土地改良調査管理事務所		